

生命（いのち）の安全教育 動画を使用した授業展開例

小学校（低・中学年）「じ分の体を大切にしよう」

	学習内容	・予想される児童の反応	○留意点 *支援
導入	1. 自分の体は自分だけの大切なものであることを理解する。	・手を洗う、転ばないように気をつける、マスクをつける、など。	*自分の体を大切にしていることを理解するために、日常生活の場面のイラストや写真をパワーポイントで提示する。 ○自分の体を大切にするために普段していることを考えさせる。 ○他の人の体も大切であることを理解させる。
展開	2. 本時のめあての確認をする。		*本時のめあてに迫るために、担任と一緒に読む。 *めあてを確認した後に、本時の学習をより意識できるように動画教材を視聴する。
	自分や他の人の体を大切にするためにできることを考えよう		
	3. 自分だけの大切なところを知る。	・手が大切 ・足が大切 ・おしりが大切	*大切なところが出てこなかったとき、例を出し、考えられるようにする。 *なぜプールに入るときに水着を着るのか、理解を深めるために動画を視聴する。 ○体全てが大切なところであることを伝える。 ○特に下着で隠れているところは大切であり、見せたり、触らせたりしてはいけないことを伝える。 ○他の人の水着でかくれるところも大切で、見たり、さわったりしないようにすることを理解する。 *ここまでの学習をより意識できるように動画教材を視聴する。
4. びっくりしたり、と嫌な気持ちになったりする時はどんなときか考える。	・強く押される、急にさわられる	*びっくりするのはどのような状況か、動画を視聴する。 *気持ちを考えやすいようにするために、動画だけではなく、日常生活の場面（着替えている場面、抱きついている場面）のイラストを提示する。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体を触られたとき、どんな気持ちになるか考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・悲しい気持ち ・いやな気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> * 動画視聴の前、あるいは後に、ワークシートを用い、びっくりしたりいやな気持ちになるのはどのような時か、その時にどのような気持ちになるかを書かせて発表させる。
	<p>5. 嫌なことをされたとき、どう対処すればいいのか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たすけて、いやだ、という 	<p>○児童が考えた方法以外の対処法を伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>走る、さけぶ、安全なところに飛び込む、はつきり・きっぱり断る、など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> * 自分だけの大切なところをさわられて、いやな気持ちになったら、「『いやだ!』『やめて!』『だめ!』とはつきり断る」、「そこから逃げる」「あんしんできる大人に伝える」ことを実際に体験させる。 * ここまでの学習をより意識できるように動画教材を視聴する。
まとめ	<p>6. 自分や他の人の体を大切にするために自分にできることを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見せないようにする ・見ないようにする ・いやだという 	<ul style="list-style-type: none"> * 本時のめあてに迫るためにもう一度めあてを担任と一緒に読む。 ○自分の体も他の人の体も大切であることを理解させる。

板書計画

